

おわりに

平成 28 年度（2016 年度）は、「武田ビジョン」に則った大学機能強化の勢いが増し、第三期中期目標期間およびその次の第四期中期目標期間の終了時の数値目標達成を見据えた短期から中長期までの改善・変革の具体的活動と評価指標の議論が幅広くなされた。

国内外の情勢，経済動向による国力の変化，文教政策，国立大学法人を取り巻く環境などの動きに対応しながら，神戸大学全体，部局（海事科学部・海事科学研究科），講座・教育研究分野から教職員個人まで，いずれの階層においても好ましいリーダーシップの下のチームマネジメントおよびリソースマネジメントの実践により，組織力の向上を図り目標達成を目指す必要がある。

海事科学研究科においては，平成 26 年度に公表したミッションの再定義に則り，平成 25 年度学部改組の学年進行による平成 29 年度大学院改編の準備を進め，また，大学院入学定員の改訂が申請通り認められ，平成 29 年度から新たな大学院カリキュラムによる BM 一貫思想に基づく教育体制が始まる。

本報告書において，平成28年度に行った諸活動の自己点検及び自己評価を行い，データ蓄積と共に次期以降の活動計画の参考材料を提供する。